



立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39th Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>



ニュースレター2022年 1月号

皆様新年あけましておめでとうございます！

2022年の新しい年が始まりました。

皆様はどのような思いで新年をお迎えになりましたでしょうか？

日本では「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆様はきっと『今年はこちらを目指そう！』

『今年こそはこちらを実現しよう！』と誓いを新たにされたのではないのでしょうか。

思えばwithコロナとしての生活が3年目を迎えます。

何もわからなかった頃は、これから一体どうなるのだろうか？と言った不安と恐れの日々であったことを思い出します。外から戻ったら必ず手を洗い、マスクはいつも身に着け、人込みを避けてと気遣う生活も、時がたつといつの間にか日常の生活様式になってしまった気もいたします。やがてワクチンが開発されその接種が進み、すでに3度目のブースターを済まされた方も大勢いらっしゃいます。

最近ではそうした人々の努力によりやや状況が落ち着き、レストランでの飲食やブロードウェイなどの劇場や人々の集まりも再開され始め、外でのマスクを外した歩行も可能となるほど回復の兆しが見えてきました。しかしそれもほんの束の間で、昨年末から新種で感染力の高いオミクロン株が発生し再び世界各地に拡がる様相です。まさに人類とウイルスのイタチごっこの繰り返しのようにも思えます。

ニューヨーク教会ではニューヨーク、シカゴ、フォートマイヤーでの施設が閉鎖状態となり、皆が大勢揃って式典をしたり、参拝することが出来ず、一日も早く顔と顔を合わせて言葉を交わしたり、参拝することのできる日が到来することを心から待ち望むところです。

しかしこうした不自由さばかりでなく、その困難な状態の中で「お陰様」を実感することもあります。それはZOOMを介したプログラムが定着し成果を上げていることです。

これまでニューヨーク教会の包括範囲の広さから、なかなか一堂に会して出会えなかった皆様とのつながりが可能になりサンガの一体感が育まれてきたことです。

初めはコンピューター操作も難しく、ようやくつながっても画面を通しての会話もどことなくぎこちなく、はじめましての挨拶から顔と名前や住んでいるところの確認をしあうところからの出会いだったと思います。そのことも時間がたち研修や法座での機会が増えるに従い、お互いの理解や友情が深まり教えを中心に人々が集う新しいサンガのスタイルが形成されつつあります。

たとえZOOMと言う間接的な触れ合いであっても、人と人が出会い心を交わすことのできる大切さや

安らぎがそこにはあります。「人は人との出会いによって患う事もあるが、人との出会いによってこそ心が真に癒される」と文化人類学者の上田紀行さんが氏の著作で述べられ、さらに「人との出会う関係のもちかたによって、お互いの心が開き友情や信頼が深まり真の癒しにつながる」とも語っています。

私たちは仏教徒として仏さまがお説きになられた教えを中心にお互いの関りを深め成長を目指すわけで、それは決して利害や打算を中心とした関係ではありません。

それは「立正佼成会」という教団の名前にこめられた意味の如く、私たちが目指す在り方です。すなわち「立正」とは正しい教えに基づき、「佼成」とは人と人が交わることによって人間性の向上をはかる「会」集いを意味しています。

私たちはこの基本精神をたえずふりかえり、人と人との出会い（ご縁）を大切により深めて行きたいと思えます。

人は誰しも自分を理解されたい、認めてもらいたいという願望があります。そうであればこそ自分自身から積極的に他の人々に関心を払い理解を深め、人間関係を深めてゆくことが大事ではないでしょうか。教団の100周年に向けた基本構想の標語に「惜しみなくつながろう！」という言葉がありますがまさにその実践だと思えます。

本年はニューヨーク教会が発足して40周年を迎えます。

10月16日にはその記念行事を予定しておりますが40年と言う年月をふりかえり、これまで尽力をくださった諸先輩方への感謝とこれからの時代にむけて私たちがどう貢献できるかを模索しサンガのより一層の充実をはかる一年としたいと思えます。

皆様、本年も健康には充分留意され実りあふれる一年となりますよう共々に精進させていただきます。



合掌

ニューヨーク教会長
畠山友利